

しまのがっこう 政策編  
**大矢内生氣さんと語る島の未来**  
**「国境の島、宮本常一の思い」**



**講師：大矢内 生氣 氏**  
 離島政策文化フォーラム 事務局長

●**離島の近現代史** 明治元年隠岐独立 明治5年学制発布／昭和5年トカラ列島 同12年沖縄県成立 同年「日清修好条規」交渉／宮古八重山割譲案 同23年小学校令／不設置 明治41年沖縄県及島嶼町村制 昭和21年「2・2宣言」／伊豆大島独立憲章 昭和22年地方自治法直接民主制／八丈小島宇津木村～S30年 昭和25年公職選挙法第147条／～同31年青ヶ島村

●**全国離島振興協議会の成立** 民俗学者宮本常一 島嶼社会研究会 東大理学部地理学教室 離島振興法の成立 学会主導体制

●**宮本常一という人** 周防大島 小説家志望 天王寺師範 結核 左翼思想 クロボトキン 小学校訓導 近畿民俗懇話会 柳田・折口・渋沢 アチック・ミュージアム 360日 思索者への素材提供 庶民・常民 多領域研究 東洋大学 戦後経済構造転換の忘れ物 戦後知識人への影響 谷川雁「(宮本の)細胞を浸しているのは済民の思想である。」野間宏 司馬遼太郎 転向 武蔵野美大 日本観光文化研究所 芳賀日出男・下野敏見氏と体験参画型エコツーリズム『旅する巨人』『宮本常一離島論集』

●**宮本常一の離島振興論** 「ああ、すべての島に橋を架けたい」「そんな観光で君たち島のプライドは傷つかないのか！」「観光投資同等額がもし農業基盤に投資されるならば、土地所有者（農業者）の全体にその便益が行き渡るものを！」昭和の大合併に宮本は絶対的反対の立場に非ず「島が陸地ほど利用価値がなかったためでもある。」「町村合併で政治力・陳情力に差が生じた。」「去勢されつつある島」「陳情をしなくてもすむ政治を確立したかった。それは離島振興法施行以来の私の念願だった。」輸送コストへの着目 郷土学 外からふるさつを見る ひとつくり 全国離島青年会議 自立・垢ためて 自主振興 主体性論 法の限界 全国離島振興協議会との訣別と復帰 審議会委員

●**離島振興法の変遷** 目的条項「本土より隔絶せる離島の特殊事情よりくる後進性を除去するための基礎条件の改善並びに産業振興に関する対策を樹立し(以下略)」平5年排他的経済水域保全 平15年わが国「領域」保全への寄与 経済企画庁総合開発局 公共事業中心

●**離島振興政策環境の変化** 土光臨調中間答申 自公政権下の経済財政諮問会議 小さな政府論の台頭 道州制 地域主権戦略大綱／国土総合開発の終焉 格差是正型地域振興立法の終焉 沖縄・離島地域の国家国民への貢献 道州制移行 地域主権一括法 平8年国連海洋法条約批准／121条 平成19年海洋基本法／20条26条 平20年閣議決定「国土形成計画」平成22年低潮線保全拠点施設整備法 沖ノ島島南島島 41万平方km

●**周辺状況の変化** ボートピープル／不審船／密漁 中国と北朝鮮 西沙南沙諸島問題 東シナ海ガス田開発問題 東海問題 中国のエネルギー収奪 第1島列・第2島列 中国海軍の自国200海里への侵入阻止宣言 外国人土地買収問題／対馬・五島列島・加計呂間島 ウォーターバロンズ インドネシアの状況 中国の水源涵養林等在外資産買い漁り戦略 平20年森林法改正／1ha未満売買の事前届け出制(道庁) 2050年問題／平20閣議決定「国土形成計画」全国計画／はじめて国土の国民的管理の必要 平23発表の国土審議会政策部会・長期展望委員会の「国土の長期展望」中間取り纏め／国立社会保障・人口問題研究所の人口分布予測／現在国民が定住している地域の約二割が早晩無住地域に／改めて国民による「持続的定住」への政策的支援が必要

●**政治状況の変化** 「日本の領土を守るため行動する議員連盟」(山谷えり子・松原仁)／「国家主権と国益を守るために行動する議員連盟」(原口・岩屋)／「地下水の利用の規制に関する緊急措置法案」(高市早苗)／自民党「安全保障土地法案」(山谷えり子)／自民党「無人国境離島管理法案」  
「特定国境離島保全・振興特別措置法案」

●**今回の離島振興法改正の要点** 国の責務の明記 交付金事業／事業主体の見直し NPOや住民会社への直接投資 盛りだくさんの大改正 輸送コストへの直接支援 教育支援 一部離島化・離島医療福祉への対応不足

●**離島振興の将来** 離島自治体の激減 システム欠陥の恐れ 「島の意思」とは 瀬戸内海の自像とは 意思の共有のためになすべきこと 2050年問題 離島3法の統合？ 地域立法一元化論 恒久化と計画ローディング 離島振興の中二階論 矛盾孕みつつ... 海洋島嶼国家観の醸成を 伊波普猷／ふるさとを知り愛し憂う／深く掘れ余所頼て水や汲まぬごとに

本日はしまのがっこうへ  
ご参加ありがとうございました。  
またのご来校をお待ちします。

主催：かごしま・島交流の会

「この人と語る島の未来」実行委員会

共催：市民キャビネット農都地域部会